

# 高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（新施設）整備

令和7年度予算額（案）

131百万円

（新規）文化庁



## 現状・課題

平成26年の「古墳壁画の保存活用に関する検討会」において、当時、修理中の古墳壁画を、修理後も墳丘の外の適切な場所で保存管理・公開を行うことを決定した。現在は、国営飛鳥歴史公園内に設けられた国宝高松塚古墳壁画仮設修理施設にて劣化防止対策に係る調査研究を行いながら、修理作業室の公開を実施している。

令和6年3月に高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（新施設）基本計画を策定。令和11年度までに新施設の供用開始を目指し、国土交通省における国営飛鳥歴史公園高松塚周辺地区の再整備と連携を図りながら、一体的な施設整備を推進する。



高松塚古墳壁画 西壁女子群像

国宝高松塚  
古墳壁画  
仮設修理施設特別史跡に  
指定されている  
高松塚古墳

## 事業内容

### ●（建築）基本・実施設計等 88百万円

#### ①基本・実施設計

- ・免震・耐震方法や空調などの機械機能設定含む
- ・「高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）基本計画」に基づき実施

#### ②敷地調査業務

- ・地盤調査、敷地調査、地震動作成・解析調査

#### ③解体設計

- ・新施設の設置想定地にある現存の国営飛鳥歴史公園館の解体設計（壁画保存のため、低振動・低騒音による撤去工事の必要有）

### ●（展示・収蔵環境）基本設計 42百万円

- 展示と収蔵庫等に関わる諸室のコンテンツ計画と内装

## 【骨太方針2024】高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）基本計画に基づく取組の推進

### 新施設 の 目的

- 古墳壁画・石室石材を保存・メンテナンスし、将来に継承
- 飛鳥地方の歴史や風土、特別史跡の価値、国際交流の歴史等踏まえながら古墳壁画・石室石材の価値や魅力を発信



現況図

国営飛鳥  
歴史公園館

現在の国営飛鳥歴史公園館周辺に、公園館と一体的整備により飛鳥周遊のゲートウェイとしての機能を備える

### [主要な新施設諸室]

#### ●古墳壁画・石室石材の保存・修理メンテナンス

- ・壁画・石室石材保存管理室
- ・「壁画保管区画」と「観覧区画」で構成
- ・メンテナンス準備室・機器室
- ・収蔵庫

#### ●展示、教育・普及

- ・展示室、企画展示コーナー

#### ●学芸活動、人材育成、国内外のネットワーク構築、情報発信

- ・ホール、ミュージアムショップ

●今後のスケジュール（案）：基本・実施設計※建造物撤去、埋蔵文化財調査 → 建築工事 → 壁画移設 → （R11年度）供用開始

### アウトプット（活動目標）

- 古墳壁画・石室石材の保存環境を最適に維持するための新施設を設置
- 教育プログラムや展示を通じて、来訪者に高松塚古墳・壁画の価値を伝える環境整備

### 短期アウトカム（成果目標）

- 計画に沿った新施設整備進行と供用準備、認知度向上のプロモーション活動
- 新施設での保存修理・展示運営に関する最新の技術や方法の導入

### 長期アウトカム（成果目標）

- 我が国の古代国家形成期の歴史・国際交流に対する理解の促進
- 文化財の保存・活用に対する国民の機運醸成、インバウンド需要喚起による地域活性化に寄与